

評価シート

耐震	部位	壁	分類	開口型	有効期限	2027年3月31日	評価番号	A-284	
評価技術名称					連絡先	https://www.aichi-gensai.jp			
構造用合板補強工法					愛知建築地震災害軽減システム研究協議会				
大壁「1間腰壁」裏棧あり					実験実施機関：名古屋工業大学				
概要	技術概要 構造用合板を横向きで用いて、開口を有しながら大壁で腰窓上下の垂壁と腰壁を構造用合板で補強する工法。								
	技術の特徴						コスト		
要	<ul style="list-style-type: none"> 開口部を有していても、腰壁、垂壁を補強する事により耐震補強が可能 1間の開口部がある場合に有効 一般流通品なので取り扱いが容易 						サンプル構面	—	
							設計見積り例	—	
適用範囲					写真・図				
構法		木造在来軸組工法							
規模		3階建て以下							
基礎、地盤		特になし							
適用部位		内外壁							
耐震性能									
評価仕様：大壁直貼仕様									
		壁基準耐力		壁基準剛性					
1間独立		1.56kN/m		219kN/rad/m					
1間独立：A-111からの低減係数 $\alpha = 0.3$									
設計方法									
① 柱接合部による低減：取付部分が健全であること									
② 劣化による低減：取付部分が健全であること									
施工者指定									
特になし									
主要構成部材の仕様									
仕様	構造用合板		大壁、厚 12mm、横使い、各高さ 400mm 以上						
			釘 N50、CN50、@100mm 以下、間柱打ち、四周打ち、端あき 15mm 以上 20mm 以下						
	間柱		三つ割材以上、釘 N50、CN50 @100mm 以下、間柱に対し上下受材勝ち						
	継手受材		なし						
	上下受材		奥行 90×見付 45mm 以上、釘 柱・間柱に対し 2-N75 斜め打ち						
	四方受材		なし						
	下地材		なし						
	アルミアングル		なし						
かさ上げ材		なし							
その他					1間と半間が連続する場合は、1間を $\alpha = 0.3$ 、半間を $\alpha = 0.2$ とする。				
基本仕様		1間腰窓連続+両側に無開口壁			1間と半間が連続				
1間独立		1間連続両側			1間半間連続				
 $\alpha = 0.3$		 $\alpha = 0.3$ 0.3			 $\alpha = 0.3$ 0.2				